

#2バビロンの捕囚から帰還した後の、良き地での生活の極めて重要な面 **BEV2/27-3/5** イスラエルの民の歴史は、予表であり、新約の信者たちを予表しており、それゆえ召会を予表しています **1コリント10:11** さて、これらの事柄が彼らに起こったのは、一種の予表としてであって、もろもろの時代の終わりに臨んでいる私たちへの警告のために、書き記されたのです。

**II** ユダは忠信でなかったために、バビロンに捕囚として連れ去られました。こういうわけで、捕囚から帰還した者たちは、神に対して忠信でなければなりません **2テモテ2:13** 私たちが不信実であっても、彼はなおも信実である。彼はご自身を否むことができないからである。 **1コリント4:2** ここで、さらに、執事たちに求められるのは、忠信であることが現れることです。 **A** 神は、彼のエコノミーを完成することにおいて、また私たちを彼のエコノミーの中へと導くことにおいて信実です。 **B** 信実な神として、神はご自身を否むことができません。神はご自分の存在を否むことができません。 **C** 神が彼の信実という属性をもって私たちの中へと造り込まれるとき、神は私たちとなり、私たちは神の信実という属性において神となります。 **1** 神がご自分の存在を否むことができないように、神で構成された私たちは、自分の存在を否むことができません。 **2** このようにして、私たちは神の奥義の執事として、忠信になることができ、また忠信になります。 **D** 私たちが忠信であり、信頼できるというのは、主が私たちに割り当てた執事職を果たすことを意味します。 **E** 主はハルマゲドンの戦いのために来るとき、主の主、王の王であり、彼と共にいる勝利者たちは、「召され、選ばれた、忠信な者たち」です。 **III** バビロンの捕囚から良き地に帰還した人はみな、エホバを知り、エホバに従い、エホバを礼拝するように命じられました **歴代上16:8** エホバに感謝し、彼の御名を呼び求めよ。彼のみわざをもろもろの民の間に知らせよ。

**A** 「神」は、神の力、および神と被造物の関係を暗示しています。「エホバ・神」は、神が人と関係を持つことを示しています。 **B** エホバ・神は、力強い方であるだけでなく、人に近づく方でもあります。 **C** 「エホバ」は、「私は『私はある』である」を意味します。これは、エホバが自ら存在し永遠に存在する永遠の方であり、昔おられ、今おられ、未来永遠におられる方であることを示しています。 **出3:14** 神はモーセに言われた、「私は、『私はある』である」。また彼は言われた、「イスラエルの子たちにこう言いなさい、『「私はある」が、私をあなたがたに遣わされた』」。 **D** エホバだけがある方です。 **E** 「エホバ」は、存在と約束の成就のための神の御名です。 **F** エホバは永遠に存在するので、また彼は「ある」という動詞の実際

であるので、ご自身が語ったことをすべて成就します。 **G** 今日、主の回復において、私たちは成就の段階にいます。私たちは神をエホバ、すなわち、大いなる「私はある」として経験しています。 **IV** イスラエルの子たちが良き地に帰還したことは、クリスチャンが分裂から召会の立場に、すなわち一の立場に戻ったことを表徴します **歴代下36:23** エホバ...は私に、ユダにあるエルサレムで彼に家を建てるよう命じられた。あなたがたのうち、すべて彼の民はだれでも、エホバ・彼の神が共におられるように。その者は上って行きなさい! **申12:5** エホバ・あなたがたの神が...選んで彼の御名を置かれる場所、すなわち彼の住まいを尋ね求めて、そこへ行かなければならない。 **A** 召会の地方の立場は、基本的に、諸地方召会で実行されるキリストのからだの唯一の一です。 **B** 新約における神聖な啓示によれば、召会の立場は、三つの極めて重要な要素から構成されています。 **1** 召会の立場を構成する第一の要素は、キリストの宇宙的なからだの唯一の一です。この一は、「その霊の一」と呼ばれています。この一は、主がヨハネ17章で祈った一です。 **2** 召会の立場の第二の要素は、地方召会が設立され存在する地方の唯一の立場です。 **3** 召会の立場の第三の要素は、一の霊の実際、すなわちその霊の実際であり、その霊は神聖な三一の生ける実際です。 **C** 召会の立場は、内在的に命と関係があります。 **V** 良き地に帰還したイスラエルの子たちは、神がアブラハムと結んだ契約を覚えるようにと告げられました **歴代上16:16-18** それは彼がアブラハムと結ばれた契約、イサクへの彼の誓いである。彼はそれを堅く立ててヤコブに対するおきてとし、イスラエルに対する永遠の契約として、言われた、「私はあなたにカナンの地を与えて、あなたがたの嗣業の分け前とする」。 **A** アブラハムは、子孫に関する神の約束について神を信じましたが、良き地の約束については神を信じる信仰に欠けていました。 **B** アブラハムの信仰を強めるために、神は強いられて、アブラハムと契約を結ぶことによって、彼にご自身の約束を確証しました。 **1** 神がアブラハムと結んだ契約は、約束の契約でした。それは、神の恵みの力を通して成就されます。 **2** 新約は、この契約の継続です。 **C** 神は、十字架につけられ復活したキリストを通して、アブラハムと契約を結びました。 **1** 三種類のほふられた家畜は、私たちのために十字架につけられた人性におけるキリストを表徴し、二羽の生きた鳥は、生ける、復活した方である、神性におけるキリストを表徴します。 **2** 雌牛は平安のささげ物のためであり、雌やぎは罪のためのささげ物のためであり、雄羊は全焼のささげ物のためでした。 **3** 予表において、山ばとは苦難の生活を表徴し、家

## 神戸に在る召会交わりと報告事項

ばとのひなは信じる生活、信仰の生活を表徴します。これらは、地上での主の生活の二つの特徴です。

4二は証しの数ですから、二羽の生きた鳥は、私たちの中で、私たちのために生きる方としてのキリストの証しを担います。VI私たちはキリストにある信者として、神のみこころを発表する祈りをする必要があり、私たちの個人的な霊的境界が拡張する願いをもちつ必要があります。A宇宙には三つの意志、すなわち神の意志、サタン意志、人の意志があります。神は、人の意志が神に結合し、人が神と一になることを願っています。それによって、人は祈りの中で神のみこころを発表し、神のみこころに呼応して、神を大いに喜ばせます。マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。1祈りの真の意義は、四つの段階から成っています。a神は、彼のみこころにしたがって事を行なうことを意図しています。b神は、その霊を通して、私たちに彼のみこころを啓示して、私たちに彼のみこころを知らせます。c私たちは彼のみこころに呼応し、彼に祈り返します。ヨハネ15:7あなたがたが私の中に住んでおり、私の言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる。d神は、彼のみこころにしたがって、彼のみわざを達成します。2神によって開始され、神が開始した事に呼応する祈りだけに、霊的な価値があります。私たちはこのような祈りを学ばなければなりません。Bヤベツは、自分の境界を拡張してくださいよう神を呼び求めました。ヤベツの祈りは良き地の境界の拡張についてであり、これは良き地の実際であるキリストを獲得し、キリストを享受することの境界の拡大を表徴します。VII歴代志下20:15~22で、私たちは主を賛美することによって、霊的戦いに従事することを学ぶことができます。A歴代志下20:15で、エホバはヨシャパテ王に、「このおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない、おののいてはならない。この戦いはあなたがたのものではなく、神のものである」と言い、17節前半で、「あなたがたがこの戦いで戦うのではない」と言いました。歴代下20:22彼らが歌って叫び、賛美し始めたとき、エホバは伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアンモン、モアブ、セイル山の子たちを襲わせたので、彼らは討たれた。B賛美は神の子供たちによってなされる最高の働きです。C召会生活と私たちの個人の生活の中で、私たちは究極の賛美を神にささげる必要があります。D私たちは経験し享受したキリストを通して、絶えず賛美のいけにえを神にささげる必要があります。E「主、わが神よ、私は心を尽くしてあなたを賛美し、永遠にあなたの御名に栄光を帰します」(詩86:12)

### 1. 親子ジョイフルタイム:

2/26(主)13:30-14:30@六甲

3/5(主)13:30-14:30@本山

### 2. 2/27(月)-28(火)大学生卒業BLD

今年、大学を卒業する隆一B、新司B、雨欣Sの大学卒業祝いとして、道後温泉にブレンディングに行きます。若者たちの前途が祝福されますように。

このブレンディングに余力BS、海花S、佳穂S、夏美Sが同行します。また、聖力君、澄恵ちゃん、勝治君も行きます。また、余力Bの姉の川崎夫婦も一緒にホテルに泊まります。

### 3. 奉仕者の移動について:

3月から新城昇Bは本山Gから六甲地区、武富夏美Sは六甲地区からYPGに移動します。

### 4. 本山学生福音センターが、3/18(土)に完成して、引き渡しになります。これに合わせて、林純正B、林純安S、余力聖美S、ルーカス君が神戸にブレンディングに来ます。この本山学生福音センターの活用とこのブレンディングが祝福されるように兄弟姉妹お祈りください。

### 5. 3月福音集会担当按配:

3/5 本山G

3/12 夙川

3/19 YP

3/26 六甲

### 6. 土曜8:30-9:00預言準備集会担当:

3/4 夙川

3/11 六甲

3/18 魚崎・六アイ

3/25 本山

**CP1**主の回復の中の私たちは、エホバは存在と約束の成就のための神の御名であることを経験する

**III**バビロンの捕囚から良き地に帰還した人はみな、エホバを知り、エホバに従い、エホバを礼拝するように命じられました **歴代上16:8** エホバに感謝し、彼の御名を呼び求めよ。彼のみわざをもちもろの民の間に知らせよ。 **D**エホバだけがある方です。 **1**この方だけが存在する方であり、大いなる「ある」です。「ある」という動詞は、神だけに適用することができるのであって、私たちには適用することができません。 **2**神は宇宙的な「ある」であり、真に存在する方です。神だけが「私はある」であり、彼だけが存在する方です。 **E**「エホバ」は、存在と約束の成就のための神の御名です。

この宇宙で彼だけが自ら存在する方です。約束された方として、彼はエル・シャダイです。しかし彼が約束したことを成就する方として、彼はエホバ、ある方です。神の存在はご自身以外のいかなるものにも依存していません。…約四千年前、神は良き地に関してアブラハムに約束をされました。神の約束は、アブラハム自身にはまだ成就されていませんでした。なぜなら、アブラハムは復活させられていなかったからです。…神はあり、常にあるので、彼の約束を成就し損なうことはありません。この宇宙にある方が存在し、この方は成就する神です。彼が言われることは何であれ、実現します。エホバは彼の言葉を成就されます。今日、主の回復において、…私たちは成就の段階にいます。成就の段階は、旧約と新約の両方でなされた約束の成就を含んでいます。新約の約束の一つは、「**私は…私の召会を建てる**」(マタイ16:18)という主の言葉です。この言葉は今日私たちの間で成就されつつあります。

青年たち、このメッセージでの私の負担は特にあなたがたのためです。私は、あなたがたが主の回復に対して忠信であることのゆえに、主に感謝しています。しかし私は、あなたがたの前途に長い行程があり、多くの試練と試みがあなたがたを待っていることを知っています。私は、あなたがたが仕えている神がエル・シャダイであるだけでなく、エホバでもあることを、あなたがたに証したいのです。…私は私の言葉を守ることができないでしょう。なぜなら、私は存在しなくなるからです。しかし、エホバは永遠に存在するので、また彼は「ある」という動詞の実際であるので、ご自身が語ったことをすべて成就されます。あなたは試み、試練、困難に出遭うとき、こう言うべきです、「**主よ、あなたはあります。私の問題は終わりますが、主よ、あなたは永遠にあります。**」

**適用:青少年・大学生、新人編**

**証1**私は2011年12月に母親をガンで亡くしました。

母子家庭でしたので、母親が亡くなってから1人で生きていかなければなりませんでした。母の死を通して、人は死の前では何もできず、もろく弱いことを痛感しました。それから約2年、生きる気力も起こらず、自分のせいで母親が死んだと思い、悩まされうつ病にもなりました。しかし、主に感謝します。2013年の9月に私は路上福音で、主の言葉を聞いて受け入れクリスチャンになりました。「**おお主イエスよ**」と主の名を呼び求める時、主の豊かさは私の内側を満たしました。主は見えないお方ですが、主の名を呼ぶときに、私は神がそこにおられることを実感しました。召会生活を送るうちに、生きる気力を取り戻し、就職して社会人として働くことができるようになりました。また、2020年2月に主を愛する兄弟と結婚することができました。主よ、感謝します。

**証2**私は台湾への留学は全く考えていませんでした。しかし台湾の召会生活の豊かさを聞く機会が多く、奉仕をしている中で中国語の必要性を感じていたので、主に開いて台湾への留学についてよく祈りました。祈りの中で内側に感覚があり、兄弟姉妹とも交わって、台湾に半年留学して中国語を学び、台湾の兄弟姉妹とブレンディングする事を決めました。パスポートやビザの準備にも手間取りましたが、内側には私が台湾に行くのは私自身の願いではなく、神の導きであるという感覚で満ちており、何の不安や心配もありませんでした。

実際に行ってみると、言語の壁は明らかに高く、一日何も通じないようなこともありました。そのため不安になることもありました。内側の感覚に従い、霊を活用して「**この留学は必ず主の導きであると信じます。主よ、あなたの導きにすべて従います。すべてあなたに委ねます**」と度々祈りました。主は約束を必ず成就する方なので、このように祈るとき内側は平安で満たされ、主がすべてにおいて働いておられるという感覚を自然と持つようになりました。最終的に、台湾の集会やブレンディングを享受できるくらいに中国語ができるようになり、生活面においても非常に祝福されました。神だけが「ある」方であり、約束を必ず成就される方であるということを若い時から経験できたことを感謝します。

**祈り**おお主イエスよ、あなたは自ら存在し、永遠に存在する唯一の方であり、「ある」という動詞の実際です。イエスの名の意味は、エホバ救い主です。試練や困難に出遭うたびに霊を活用して、「あなたは永遠に存在する方です。私はありませんが、あなたの言葉と約束は、必ず成就します」と祈ります。信仰によって、あなたに触れ、あなたの語りかけを聞き、あなたに従い、あなたを礼拝します。

**CP2** 靈的戦いを放棄すればサタンの食べ物になる。主を賛美し、靈的戦いに従事して勝利する

**VII** 歴代志下20:15~22で、私たちは主を賛美することによって、靈的戦いに従事することを学ぶことができます **A2** 彼らが歌って叫び、賛美し始めたとき、エホバは伏兵を設けて、敵を襲わせたので、敵は討たれました。20:15 彼は言った、「ユダとエルサレムの住民とヨシャパテ王よ、あなたがたはみな聞きなさい。エホバはあなたがたにこう言われます、『このおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない、おののいてはならない。この戦いはあなたがたのものではなく、神のものである。16 明日、彼らに向かって攻め下りなさい。見よ、彼らはデツの上り坂を上って来る。あなたがたはエルエルの荒野の前の谷の端で、彼らに出会う。17 あなたがたがこの戦いで戦うのではない。配置につきなさい。ユダとエルサレムよ、堅く立ちなさい。あなたがたの間にあるエホバの救いを見なさい。恐れてはならない、おののいてはならない。明日、出て行って彼らに立ち向かいなさい。エホバがあなたがたと共におられるからである』。18 ヨシャパテは顔を地につけて伏した。ユダ全体とエルサレムの住民もエホバの御前にひれ伏して、エホバを礼拝した。19 コハテ人の子たちとコラ人の子たちのレビ人が立ち上がり、極めて大きな声でエホバ・イスラエルの神を賛美した。20 彼らは朝早く起きて、テコアの荒野に出て行った。その出て行くとき、ヨシャパテは立ち上がって言った、「ユダと、エルサレムの住民よ、私に聞きなさい。エホバ・あなたがたの神を信じなさい。そうすれば堅くされる。彼の預言者を信じなさい。そうすれば成功する」。21 彼は民と相談して、エホバに歌い、聖なる飾り物を着けて感謝をささげる者たちを立てた。彼らは軍勢の前に出て行って、こう言った、「エホバに感謝をささげよ。彼の慈愛は永遠に続く」。22 彼らが歌って叫び、賛美し始めたとき、エホバは伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアンモン、モアブ、セイル山の子たちを襲わせたので、彼らは討たれた。

ヨシャパテがユダの王となった時、ユダ王国はすでに傾きかけていて、とても弱く、すべては惨めな状態にありました。...ユダの人々は全く希望を失い、打ち敗られて滅亡してしまうに違いないと思いました。...歴代志下20 章では...向こう側には軍勢がいますが、こちら側には歌を歌うことがあります。この人たちが神を信じない人たちであるなら、気の狂った人たちです。神に感謝します。私たちは気の狂った人ではなく、神を信じる人です。...人は試練を受ければ受けるほど、自分を見、また環境を見てしまうものです。しかし、神を認識している人は、試練を受ければ受けるほど主を仰ぎ、また賛

美することを学びます。ですから、私たちの目は自分を見ず、主を見ることを学ばなければなりません。そうすれば、頭を上げて主に言うでしょう、「主よ! あなたはすべてを超越しておられる方です。あなたを賛美します!」。...もし内側から最上の感覚を絞り出して神を賛美するなら、必ず堅く立つことができ、必ず勝利することができます。

### 適用:ビジネスパーソン、大学院生編

**証** 私は就職して初めの頃、表面上、人から来る攻撃が、実はサタンからであることを理解していなかったもので、戦う必要を感じていませんでした。その結果、職場において私は混乱に巻き込まれて、疲弊していました。例えば、仕事の後の付き合いの誘いを、人間関係が悪くなることを恐れて断れなかったので、多くの時間を浪費してしまいました。また、意味もなく残業に付き合うことも断われず、疲れ切りました(仕事もないのに仕事をするふりをして、残業するのは最も苦しいことでした)。転職後、私は過去の失敗とその結果の混乱と疲弊を思い出し祈りました。その時主は、「サタンが背後で働き、私が主をエンジョイし、福音と牧養の奉仕をする時間を減少させていたこと」、「飲み会や残業のような付き合いが仕事上ほとんど不要であったこと」を示してくださいました。私は祈りました、「おお主イエスよ、サタンが召会生活における私の享受と奉仕を削減するために私を攻撃していることが分かりました。私は靈的な戦いに従事しなかったので、サタンの食べ物になっていました。私は主の中でしっかりと立ち、サタンに抵抗します」。

その後も、サタンは別の様々な方面から、私を攻撃し、私を弱らせようとしてきました。私が会社で主の祝福の下、役員としての業績を飛躍的に伸ばした時、明らかに嫉妬の故に、すべての役員から多くの攻撃を受けました。おもだった兄弟姉妹と一緒に戦う祈りをしていた時、内側に明確な平安があったので、「私の内側に平安があるので、この戦いで私は必ず勝利します。これからは、主の勝利を賛美してください」と交わりました。賛美すればするほど、私たちは引き上げられました。その祈りと賛美の約1年半後、私に反対した役員たちはすべて解雇され、私だけが守られました。その後、私は更に召会生活に自分の時間を捧げることができるようになりました。

**祈り** おお主イエスよ、サタンは様々な機会を用いて、私が主を享受し、主に仕える時間を奪おうと仕掛けてくるので、靈的戦いが必要です。戦わなければサタンの食べ物になってしまいます。試練の中でも主を仰ぎ、主の勝利を賛美します。私たちは賛美の中で勝利から勝利へと前進します。